

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会  
募金・協賛推進特別委員会第 13 回会議 次第

日 時：令和 6 年 3 月 21 日(木)

10:00～11:00

場 所：滋賀県農業教育情報センター  
4 階 第 4 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告事項

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和 5 年度取組実績について【資料 1】

4 審議事項

(1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和 6 年度取組計画(案)について【資料 2】

5 閉 会

国スポ開催まであと 556 日

障スポ開催まであと 583 日

# 配 席 図

出入口

出入口

藤原 委員◎ ◎上村 副委員長

廣瀬 委員◎

◎坂本 委員

山口 委員◎

◎片山 委員

中嶋 委員◎

記  
者  
席

傍  
聴  
者  
席

傍  
聴  
者  
席

事務局

事務局

事務局

事務局

「募金・協賛推進特別委員会」委員名簿（新旧対照）

分 野	所属団体・役職名	旧委員名	新委員名
経 済 社 会	滋賀経済団体連合会参与 （滋賀県商工会議所連合会専務理事）	廣瀬 年昭	（同左）
	滋賀県地域女性団体連合会会長	上村 照代	（同左）
	公益財団法人淡海文化振興財団 常務理事兼事務局長	南 圭子	（同左）
	滋賀県青年団体連合会主事	坂本 陽子	（同左）
有 識 者	特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー	戸 田 由 美	（同左）
マ ス コ ミ	びわ湖放送株式会社放送管理局長兼制作部長	山口 秀富美	（同左）
ス ポ ー ツ	公益財団法人滋賀県スポーツ協会事務局長	片山 彰一	（同左）
	一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会 専務理事兼事務局長	中嶋 義基	（同左）
行 政	滋賀県文化スポーツ部次長	東郷 寛彦	藤原 久美子

副委員長



## わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和5年度取組実績

## 1 寄附の実績（R 6. 3. 14 時点 申込済）

令和5年度実績 83,112,489 円

寄附の種類	件数	寄附金額	備 考
個人	26 件	9,935,000 円	
企業・団体	59 件	72,028,415 円	
イベント等	14 件	29,732 円	イベント等での募金
据置き募金箱	—	278,480 円	
募金グッズ	—	322,912 円	ぬいぐるみ・ピンバッジセット 90 個 (1,500 円) ぬいぐるみ単品 86 個 (1,400 円) ピンバッジ 333 個 ( 200 円) LINE スタンプ 4,704 円
その他	2 件	517,950 円	びわ湖マラソン 2024 (チャリティーランナー) 他
計	101 件	83,112,489 円	(使途) 競技力向上 46,209,489 円 施設整備 30,600,000 円 大会運営 6,303,000 円

## &lt;参考&gt;

年度	平成 26 平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5	計
件数	80 件	75 件	112 件	57 件	59 件	239 件	174 件	147 件	101 件	1044 件
寄附 金額	31,066 千円	23,320 千円	30,424 千円	59,362 千円	45,714 千円	36,404 千円	35,483 千円	142,194 千円	83,112 千円	487,079 千円

## 2 企業協賛の実績（R5.3.14時点 契約済）

令和5年度実績（契約金額）**132,657,820 円**（協賛金 80,310,000 円、物品52,347,820 円相当）

【参考】令和4年実績（契約金額）**21,441,000 円**（協賛金 21,100,000 円、物品 341,000 円相当）

カテゴリー	(R5 年度) 企業・団体数	(R5 年度) 企業・団体名	【参考】 (R4 年度) 企業・ 団体数
JAPANGAMES パートナー (協賛金)	5	積水化学工業(株) 綾羽(株)、(株)村田製作所、東レ(株)、 ヤンマーホールディングス(株)、	2
オフィシャル スポンサー (協賛金)	4	大和証券(株)、甲賀高分子(株)、 西日本電信電話(株)、(株)堀場製作所	0
オフィシャル サポーター (協賛金)	7	(株)市金工業社、(一社)滋賀県建設業協会、 (株)三東工業社、滋賀県信用保証協会、 (株)たねや、(株)PRO-SEED、生活協同組合コープしが	1
大会協力企業 (協賛金)	8	(一社)滋賀県警備業協会、近江鍛工(株)、 元三フード(株)、(株)中広、(株)山正、 滋賀県スポーツ用品(協組)、(株)誠進堂、 高木メリヤス(株)	1
オフィシャル サプライヤー (協賛物品)	23	(株)あいコムこうか、(株)ZTV、 東近江ケーブルネットワーク(株)、 (株)滋賀トヨタ、トヨタモビリティ滋賀(株)、 トヨタカローラ滋賀(株)、ネッツトヨタびわこ(株)、 滋賀日産自動車(株)、日産プリンス滋賀販売(株)、 滋賀ダイハツ販売(株)、(株)京滋マツダ、 滋賀三菱自動車販売(株)、滋賀スバル自動車(株)、 (株)スズキ自販滋賀、(株)ホンダオートフクナガ、 滋賀ホンダ販売(株)、ホンダ販売フタバ(株)、 (株)ホンダクリオ滋賀、(株)ワイスリー企画、 (株)京都新聞ホールディングス、(株)ZONE、 (株)アスタリスク、全国マツダ労働組合連合会	0
大会協力企業 (協賛物品)	5	(株)レイ高、(一社)滋賀県造園協会、 ニッポンレンタカー関西(株)、(株)activo、 (株)ファミリーマート	2
計	52 協賛金 : 24 協賛物品 : 28		6 協賛金 : 4 協賛物品 : 2

### 3 主な取組

#### (1) 個人向け取組（寄附）

##### ① イベント会場等での募金活動の実施

14 のイベントにおいて、会場等での募金活動を実施。（令和 6 年 3 月 10 日時点）

<募金活動を行った主なイベント>

- ・イナズマフード GP（5/24）
- ・マキヒカカップ in 滋賀（8/12）
- ・バスの日まつり in びわこ（9/2）
- ・あれこれスポーツ体験フェスタ（9/30）
- ・BKC ウェルカムデー（11/4）
- ・野洲川ファミリーマラソン（3/3） 等

募金の促進を図るため、引き続き、寄附返礼グッズとして、大会マスコットキャラクターをデザインした缶バッジを寄附返礼グッズとして活用。

また、楽しみながら募金していただけるよう、新たにカプセルトイを導入した。

イナズマフード GP



カプセルトイ



##### ② 寄附付商品の販売

大会マスコットキャラクターを活用した募金グッズ（ぬいぐるみ、ピンバッジ）について、事務局による直接販売（事務局執務室、イベント、郵送）および滋賀県職員生活協同組合（県内 9 店舗）・スポーツショップキムラ（県内 3 店舗）、薬局（県内 7 店舗）での委託販売を実施した。また、大会マスコットキャラクターを活用した LINE スタンプの販売を実施した。

##### ③ 募金箱の設置箇所の拡大

県内の民間スポーツ施設の他、民間企業の営業所等に募金箱設置の協力を依頼し、設置した。

- ・令和 5 年度末募金箱設置箇所 272 箇所（令和 4 年度比：24 箇所増）

##### ④ スポーツイベント等とのタイアップの実施

「びわ湖マラソン 2024」でのチャリティーランナーの募集において参加料の一部（1 口 500 円）を寄附いただいた。

- ・令和 5 年度 558 口（令和 4 年度比：216 口増）

##### ⑤ ふるさと納税ポータルサイト「滋賀応援寄附」による寄附の受入れ

滋賀応援寄附（ふるさと納税）の寄附メニューに位置付け、受入れを行った。

## (2) 企業・団体向け取組（寄附・企業協賛）

寄附および企業協賛（令和4年8月より開始）について、次の取組を実施した。

- ・ 県内経済団体等の会合の場を活用した呼びかけ
- ・ 個別企業への訪問等による依頼

3月14日末時点で、135件の企業・団体に依頼

※寄附・企業協賛の依頼と併せて、ポスター掲出、社用車ラッピング、ネクストラップ着用などの広報・啓発への協力依頼も実施

### <物品協賛の事例>

- ・ 県内15社の自動車販売株式会社からの車両貸与 計20台
- ・ テレビ、新聞、雑誌、サイネージ、ポータルサイトの広告枠
- ・ その他、木製ベンチなど

#### 協賛車両



#### 雑誌の広告枠



## (3) 謝意表明および企業協賛特典の実施

### ① 寄附

- ・ 寄附に対する感謝状贈呈式を行った。
  - ・ 寄附者銘板（10万円以上の寄附が対象）を平和堂 HAT0 スタジアムメインエントランスに設置し、お披露目を行った。
- ※銘板には、信楽製の陶板を使用

#### 感謝状贈呈式



#### 寄附者銘板およびお披露目（R5.5.13）



## ② 企業協賛

- ・企業協賛に対する感謝状贈呈式や協賛物品のお披露目を行った。
- ・企業協賛に係る特典として、大会HPをはじめ広報誌等への企業名やロゴの掲載などを行った。

### 協賛物品のお披露目・感謝状贈呈



### 大会HPでの協賛企業の掲出



## (4) 寄附・企業協賛制度についての情報発信

国スポ・障スポの寄附・企業協賛の制度についての認知を広め、個人や企業等による寄附や企業協賛の機運を高めるため、上記(1)(2)の取組とともに、次のような取組により情報発信を行った。

- ・寄附、企業協賛に係る感謝状贈呈などを大会HP・SNS等に掲載
- ・大会広報誌「シャイン!!」第5号(令和5年9月発行)および第6号(令和6年3月発行)において協賛企業ロゴを掲載

(発行数) 地域みっちゃく生活情報誌(県内全戸配布): 各号 約46万部

新聞折込: 各号 約5.3万部

※同広報誌のスマートフォン(ウェブ)版、音声版および点字版で、募金グッズの紹介、協賛企業のロゴを掲載

- ・大会広報用リーフレットを活用した情報発信

内容: 「グッズを買って、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポを応援しよう!」

「寄附と企業協賛のお願い」

媒体: 紙面(10,000部作成し、県立施設等に設置。)

## (5) 寄附金・協賛金等を活用した事業展開

### ① 寄附金について、次の事業に充当した。

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト: 充当額 200万円

滋賀県内の小学校5年生を対象に運動能力テストを行い、約40名を選考。「滋賀レイキッズ」として「食育プログラム」や「競技体験プログラム」などの育成プログラムを実施し、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成

- ・ 競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 100 万円  
全国障害者スポーツ大会等の全国大会において優秀な成績を収めるとともに、恒常的な競技力向上体制の整備、充実、発展を目的として、各競技団体への支援を実施

- ・ ターゲットエイジ重点強化事業：充当額 300 万円  
わた SHIGA 輝く国スポ大会時に少年種別の主力となる年代の選手をターゲットエイジ強化選手として指定し、指定証や T シャツを配布するとともに、各競技団体の強化事業の支援を実施

- ・ 県営金亀公園（平和堂HATOスタジアム）整備事業：充当額 1,500 万円  
国スポ・障スポ大会の開・閉会式および陸上競技の会場となる県営金亀公園（平和堂HATOスタジアム）の整備を実施

② 協賛金について、次の事業を実施した。

- ・ 広報誌「シャイン!!」第6号（令和6年3月発行）作成： 1,160 万円

## わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ募金・企業協賛にかかる令和 6 年度取組計画（案）

令和 6 年度は、大会マスコットキャラクターを用いた寄附付商品販売や企業・団体への寄附・企業協賛の依頼等の取組をより一層強化していく。

### 1 個人向け取組（寄附）

開催 1 年前イベントなど、大会開催の周知に向けた広報活動と連携して、幅広い世代を対象とした寄附募集の周知と活動機会の充実を図る。

#### （1）寄附付商品販売の促進

大会マスコットキャラクターを用いた募金グッズについて、現在販売しているぬいぐるみ、ピンバッジの他、新たなグッズを作成し、寄附付商品の拡充を図る。

販売に当たっては、引き続き、事務局による直接販売を行うとともに、委託販売先の拡大を図る。また、イベントなどへの出張販売も実施することにより、大会に向けた機運醸成につなげていく。

#### 募金グッズ



#### 出張販売



#### （2）イベント会場等での募金活動の実施

イベントでのブース出展等や着ぐるみの出役に合わせ、寄附返礼グッズやカプセルトイ等を活用した募金活動を実施する。

#### （3）ふるさと納税ポータルサイトを利用した寄附の受け入れ

気軽に寄附できる手法として、引き続き「滋賀応援寄附」のメニューに位置付け、ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附の受け入れを行う。

#### 滋賀応援寄附（県 HP）



#### (4) 募金箱の設置箇所の拡大

引き続き、県立・市町立のスポーツ施設・文化施設の他、民間施設への設置協力を働きかける。

アクリル製募金箱



#### (5) スポーツイベント等とのタイアップの実施

びわ湖マラソンにおいてチャリティーランナーを募集するとともに、新たなタイアップイベント等を検討する。

びわ湖マラソンチャリ



### 2 企業向け取組（寄附・企業協賛）

引き続き、県庁内関係所属と連携し、多くの企業が参画する経済団体・各種団体の会合の場を活用した呼びかけ、企業訪問による依頼を行う。

依頼に当たっては、両大会の準備状況や寄附・企業協賛のメリット（企業イメージの向上、税制優遇措置など）、活用用途等の説明のほか、県外企業へ向けては、企業版ふるさと納税制度の活用も提案していく。

募集パンフレット



### 3 謝意表明の実施

#### (1) 寄附

- ・感謝状贈呈式等の実施。
- ・寄附者銘板による謝意表明。

#### (2) 企業協賛

- ・感謝状贈呈式等の実施。
- ・企業協賛に係る特典として、大会HPをはじめ広報誌等への企業名やロゴの掲載。

大会広報誌での協賛企業の掲出



私たちは「わたしがたSHIGA 輝く国スポ・陣スポ」を応援しています

＜ JAPAN GAMES パートナー ＞

滋賀銀行 三和堂 綾羽 muRata

※9月14日現在

#### 4 寄附・企業協賛制度の情報発信

個人や企業・団体を問わず、寄附や企業協賛制度についての認知していただき、寄附・企業協賛の機運を高めるため、引き続き、次のような取組による情報発信を行う。

- ・大会HPでの寄附・企業協賛に係る情報の発信
- ・大会SNS（X、Instagram）による寄附・企業協賛募集の情報発信
- ・企業向け寄附・企業協賛募集パンフレットの配布
- ・大会広報誌における寄附・企業協賛にかかる記事の掲載
- ・感謝状贈呈式に係る報道機関へ資料提供、大会HP・SNS等への掲載

#### Instagramでの感謝状贈呈の情報発信



#### 5 寄附金・協賛金等を活用した事業展開

(1) 寄附金について、次の事業に充当する。

- ・次世代アスリート発掘育成プロジェクト：充当額 200 万円
  - ・競技団体育成・強化対策事業（パラアスリート育成支援）：充当額 100 万円
  - ・競技団体育成・強化対策事業（国スポ選手育成強化）：充当額 300 万円
  - ・スポーツ施設整備事業：充当額 2,060 万円
- ※修繕：関西みらいローイングセンター、県立柳が崎ヨットハーバー  
備品：OSPホッケースタジアム

(2) 協賛金を活用して、大会広報を展開する。

- ・大会広報誌の発行：年2回、県内全戸に配布
- ・屋外広告物設置による露出：駅装飾、街頭広告・大型看板の設置等
- ・メディアミックスによるプロモーション